

報道機関各位



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター



発表項目	北海道中小企業総合支援センター 補助金活用事例について
概 要	<p>当センターでは、創業を目指す方々や道内中小企業・小規模事業者の販路拡大や新事業展開への取組を支援するため、各種補助金事業を実施しております。</p> <p>この度、これら活用事例を幅広く周知するとともに、事業者の更なる事業の拡大を支援するため、支援事例を発表します。</p> <p>◆中小企業競争力強化促進事業 「北海道産業振興条例」に基づく新分野・新市場への進出を支援 (活用事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みれい菓株式会社(札幌市) 展示会出展から海外展開準備までを一貫支援</li> <li>・株式会社知床グランドホテル(斜里町) 省エネルギー化によるサステナブルツーリズムを支援</li> <li>・株式会社川股設備工業(函館市) カーボンニュートラル関連サービスの品質強化を支援</li> <li>・北都システム株式会社(札幌市) 商品改良から販路開拓のための展示会出展までを一貫支援</li> </ul> <p>◆北海道中小企業新応援ファンド事業 道や札幌市、(独法)中小企業基盤整備機構、道内金融機関による出資で組成したファンドの運用益を活用し、創業や地域資源を活用した新事業展開などへの取組を支援 (活用事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊乃珈琲(帯広市) 創業時の認知度向上のための広告宣伝活動を支援</li> <li>・工房ペッカー(旭川市) 地域の木材を活用した商品開発から販路開拓のための展示会出展までを一貫支援</li> </ul>
報道(取材)に当たってのお願い	<p>道内企業の意欲的な取組であり、是非とも取材していただきたく、ご案内申し上げます。 なお、各企業への取材希望は下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。</p>
問合せ先	<p>(公財)北海道中小企業総合支援センター(HSC) 企業振興部 担当:鈴木 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル9階 ☎011-232-2403      ✉ jyoseishien@hsc.or.jp</p>



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター

## 補助金活用事例

### 2023年度 中小企業競争力強化促進事業（マーケティング支援事業） ～展示会出展から海外展開準備までを一貫支援～

#### 「企業名」

みれい菓株式会社（札幌市）

#### 「テーマ」

日本の食品の輸出 EXPO に出展し海外販路拡大

#### 「実施内容とその後の状況」

補助金を活用して東京ビックサイトにて開催された「日本の食品輸出 EXPO」に出展しました。展示会では複数の食品関連業者との商談をすることができ、メインターゲットである中国市場のほか、東南アジア市場からも引き合いを獲得することができました。また、本補助金を活用して中国へ「みれい菓」という商標出願を実施し、中国市場への販路拡大を進める足掛かりになりました。

#### 「事業を使った感想」

この度このような事業にてご支援いただき大変感謝しております。弊社としては輸出拡大の足掛かりにとどまらず、ご支援頂いたことをご協力いただいた業者様や原料メーカー様との連携など新たな取り組みにも注力することができました。この先の関係構築や輸出拡大につながるための下地となる取り組みができたと感じております。



## ◆会社・商品・サービス紹介

### 【会社概要】

札幌市にて菓子製造業を営む事業者です。

主力商品である「札幌カタラーナ」は、テレビ放送をきっかけに、全国へと販路を拡大しています。

みれい菓の名前の由来は、“美味しい、冷凍の、お菓子”。

当社で製造する全てのスイーツは、北海道の美味しい恵みを生かし、原料と製法にとことんこだわっています。

美味しくて新しい、本格的なスイーツを、どなた様にも気軽に召し上がっていただくため、

ひとつひとつ丁寧なお菓子づくりを心がけています。

### 【商品のこだわり】

#### ①新鮮な北海道産の乳製品

牛乳、生クリーム、チーズ等の乳製品は北海道の新鮮な原料にこだわっています。

#### ②素材を引き出すレシピ

素材本来の良さと旨さを引き出すレシピと製造にこだわっています。

#### ③体に優しいスイーツ

添加物を極力使用せず、小麦を使わないアレルギーフリーやグルテンフリー商品にも取り組むなど、体に優しいスイーツにこだわっています。

## 2023年度 中小企業競争力強化促進事業（コンサルタント等招へい支援事業） ～省エネルギー化によるサステナブルツーリズム（持続可能な観光運営）を支援～

### 《企業名》

株式会社知床グランドホテル（斜里町）

### 《テーマ》

脱炭素取組強化により、サステナブルツーリズム客の取り込みを図る

### 《実施内容とその後の状況》

宿泊客はコロナ禍から回復傾向にある一方、観光船事故の影響で観光客全体の回復は遅れています。この課題に対処するため、補助金を活用してカーボンニュートラルの推進とサステナブルツーリズムを軸にした施策を展開するためのコンサルタントを招へいしました。

具体的には、コンサルタントの指導を受け、GHG 排出量の計測・削減目標設定、中小企業版 SBT 取得、省エネ診断支援、カーボンニュートラルロードマップ策定などを実施。一連の取り組みは日本経済新聞にも取り上げられ、先進的な事例として注目されています。

### 《事業を使った感想》

各分野の専門家よりカーボンニュートラル達成のための具体策や弊社の現在地など様々な助言を頂き大変勉強になりました。世界遺産知床で事業をしている会社として、少しずつでも取組みを進めて参ります。



## ◆会社・商品・サービス紹介

### 【会社概要】

知床にて、「北こぶし知床ホテル&リゾート」等のブランドの宿泊施設を運営している事業者です。

当社のミッションは「世界を惹きつけるような、旅する理由をつくり出す」。

「埋もれていた価値を掘り起こし、地域を輝かせる」をビジョンに、宿泊業の枠を超えて挑戦を続けています。

### 【事業概要】

#### ■ 温泉リゾート宿泊施設の運営

- ・北こぶし知床ホテル&リゾート
- ・KIKI 知床ナチュラルリゾート
- ・知床夕陽のあたる家 ONSEN HOSTEL
- ・PRIVATE COTTAGE Lantern SHIRETOKO

#### ■ 知床の魅力発信・広報事業

- ・アーティストとのコラボ事業（アート作品の制作サポート、グッズ展開）
- ・知床の食の魅力を発信「知床ネイチャーシェフズクラブ」（情報発信）
- ・知床のサウナブランド「とこのう」（商品の開発）

#### ■ ヒグマとの共存を目指す「クマ活」の実施

#### ■ チョコレート販売・カフェ運営事業

- ・PETER BEIER CHOKOLADE JAPAN の運営
- ・バレンタイン等の催事での商品販売
- ・チョコレートショップ「PETER BEIER SHIRETOKO」の運営

**2023年度 中小企業競争力強化促進事業（産業人材育成・確保支援事業（派遣））**  
**～カーボンニュートラル関連サービスへの対応力強化を支援～**

《企業名》

株式会社川股設備工業（函館市）

《テーマ》

「脱炭素化社会の実現」及び「新市場進出」に向けた技術力向上

《実施内容とその後の状況》

「脱炭素」に対する意識が高まる中、設備業者として地球温暖化・省エネ・カーボンニュートラルへの貢献が強く求められており、これに対応する従業員を育成するため、補助金を活用して国内の先進企業であるダイキン工業(株)主催の講習会（計7回）に従業員（計16名）を派遣しました。

講習会により、数年後に主力となる若年担当者の技能・知識のレベルアップを図ることができました。今後も外部研修を教育カリキュラムに組み込み、技術力の向上とサービス内容の質的充実を図る方針です。

《事業を使った感想》

今回の講習会派遣は若手主体の構成でしたが、大手メーカーの教育メニューを通じ、全国水準の技術面の習得はもとより、いま世界的に取りざたされている「環境配慮」の必要性についても改めて認識することができました。



## ◆会社・商品・サービス紹介

### 【会社概要】

函館市にて、設計・施工及び保守メンテナンス、リフォーム事業を営んでいる事業者です。  
高い技術水準と施工体制の基、安心、快適な住環境を提供しています

### 【事業概要】

#### ・エネルギー事業部門

当社は北海道ガス指定工事会社として、長年の実績を有しています。業務用ビル、大規模マンションから戸建住宅にいたるまで、幅広い範囲で、安全で効率のよいガス設備の設計、施工を手掛けています。

#### ・設備部門

当社は、蛇口まで安全で美味しい水を確かな技術でお届けするための、水道施設からビル・店舗工事をはじめ、一般住宅の快適な空間をつくり出す空調システム、冷暖房や給排水衛生の設計・施工を行っています。

#### ・メンテナンス部門

当社では、設備の予防保全を促進しており、設備修理及び年間保守点検などのアフターサービス、省資源・効率性・安全性から注目され、需要も高まりつつある建築設備の改修・改善工事も行っております。

2023 年度 中小企業競争力強化促進事業（市場対応型製品開発支援事業(一般)）  
～商品改良から販路開拓のための展示会出展まで一貫支援～

「企業名」

北都システム株式会社（札幌市）

「テーマ」

全国の小売・流通業 DX を推進

「実施内容とその後の状況」

補助金を活用し、当社の既存商品である多店舗事業者向け本部-店舗間コミュニケーションシステム「店舗 Linkle」への新機能追加および東京ビッグサイトで開催される流通業向け IT 総合展「リテールテック JAPAN」に出展しました。

展示会では、学習塾やスーパー、その他小売店、クリーニング店などの複数の大型案件を含めた 15 件の引き合いがあり、売上向上が見込める成果がありました。「省人化」、「省力化」の課題を解決するシステムは今後更に市場規模の拡大が見込まれるため、機能改善等の対策を継続していく予定です。

「事業を使った感想」

競争力強化を目的として活用させていただきました。

新機能の反応もよく、複数の新規案件を受注しました。出展後の問合せ数も増加し、商品の PR 効果を実感しています。

店舗LINKLE



## ◆会社・商品・サービス紹介

### 【会社概要】

札幌市にて、ソフトウェア開発事業を営んでいる事業者です。

当社は 1994 年に創業、通信端末の組込みシステム開発から事業をスタートしました。

以来、常にお客様のニーズや時流の変化に対応しながら業容を拡大し、現在では自動車関連ソリューション、医療系ソリューションをはじめとして、そのほか様々な業種業態のお客様に向けたプロダクトや SI サービスなど、ソフトウェア開発を軸に事業を展開しております。

### 【開発製品概要】

多店舗運営企業向け コミュニケーションシステム「店舗 Linkle」

- ・チェーン店・フランチャイズなど多店舗展開企業に最適なコミュニケーションツールです。
- ・報告や確認、一斉配信などまとめてシステム化し、本部と店舗の効率的なコミュニケーションはもちろん、店舗同士の連携もサポートします。
- ・多店舗展開している場合、店舗と本部が抱える悩みの多くは双方で適切なコミュニケーションの精度を上げること。送信した業務連絡が一覧化されることで、現場とのやり取りがラクになります。
- ・本補助金を活用し、店舗 Linkle で最も利用される「業務連絡機能」をアップデートしました。  
『定期的を送る指示を自動で送れるようにしたい』、『複数の部署からの指示が重複するので、本部で一度精査したい』といった要望にお応えして、「定期連絡機能」と「承認機能」を実装しています。

2023年度 北海道中小企業新応援ファンド事業（創業促進支援事業）  
～創業時の認知度向上のための広告宣伝活動を支援～

「企業名」

熊乃珈琲（帯広市）

「テーマ」

自家焙煎コーヒー豆とデザートの販売・店内飲食業

「実施内容とその後の状況」

自家焙煎したコーヒー豆を使用したカフェを2023年12月にオープンしました。開業当初、認知度不足が大きな課題でしたが、助成金を活用してフリーペーパーや新聞折込チラシ、図書館雑誌スポンサーなどを活用して認知度向上に取り組みました。

その結果、開業後半年ほどでSNSのフォロワーは2600人に達し、売上も順調に推移しています。今後は、コーヒー豆のオンライン販売を計画し、さらに多くの方に楽しんでいただける商品展開を目指していく予定です。

「事業を使った感想」

創業当初は改装費や食材の仕入、備品の購入などに資金の多くを割かなければならないので、助成金があることにより積極的に広告宣伝費に資金を投入することが出来ました。

また、食品保存検査の費用も対象となっているので検査を重ね、安全な商品を安心してお客様に提供できております。



## ◆会社・商品・サービス紹介

### 【会社概要】

2023年12月25日に帯広市にて開店した珈琲店。

「コーヒーを片手にスイーツを食べるそんな少しゆるく ゆったりとした生活と共に」をコンセプトに、自家焙煎コーヒーとスイーツを楽しめるお店です。

コーヒー豆は個性を楽しんでいただけるように全てシングルオリジンのみ、また新鮮な豆を提供するため日々少量ずつ焙煎しています。

ヴェリーヌやパウンドケーキなど、コーヒーとのペアリングに合うスイーツも提供、コーヒーもスイーツもお客様に「選んでいただける楽しさ」を提供し続けたいと考えています。

**2023年度 北海道中小企業新応援ファンド事業（地域資源活用型事業化実現事業）  
～地域の木材を活用した商品開発から販路開拓のための展示会出展まで一貫支援～**

《企業名》

工房ペッカー（旭川市）

《テーマ》

道産木材を利用した「旭川産木製ロードバイク」の開発と製品展開

《実施内容とその後の状況》

脱炭素化の動きが活発化していることなどを背景に木製ロードバイクのジャンルが生まれていることに着目し、助成金を活用して旭川産の木材を活用したロードバイクの開発および性能試験の実施、ギフトショーへの出展を行いました。

ブース来訪者数は3日間で延500人以上あり、3件の成約があり売上増加に繋がりました。今後はJIS認証を取得するため、更なる改良に取り組む予定です。

《事業を使った感想》

助成金を使っていただきありがとうございます。製品開発・展示会出展・商品PRのカタログ作成など、対象となる費目も多く大変助かりました。また、助成事業期間も年度を超えて行うことができ、余裕を持って事業に取り組むことができたと感じております。



**◆会社・商品・サービス紹介**

【会社概要】

東川町にて木工製品を製造している事業者様です。

組み立てや仕上げの工程は全て人の手で行い、安定した品質製造しております。

製品はすべて無着色。木が本来持っている色や木目の個性を活かして製作しています。

木の感触が残るよう、表面は薄くオイル塗装で仕上げています。

【開発製品概要】

道産木材を利用した「旭川産木製ロードバイク」

フレーム構造の試作開発を繰り返し、人の耐荷重に耐えうる強度を実現。

オーダーメイド型で個々人の体格や乗り方に合わせた製品を製作します。